

事業番号	02 05 01	事業改善シート (30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部
		課・室	交通政策課
		実施期間	S47 ~
		E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標			
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保	3-7 先端技術の積極的な活用・導入	
	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見		

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○地域交通については、県民の生活の足として重要な役割を担っており、持続可能な交通体系を構築する必要がある一方で、利用者数の減少により乗合バス事業者等の収益の悪化や市町村の財政負担が増加し、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ○バス、トラック事業者には、小規模事業者が多く、また、経営状況が厳しいこと等から、各業界の協会が中心となり、運輸事業の有効性を高める必要がある。				30年度 決算額	601,762 千円											
					職員数	4.00 人											
目指す姿	○持続可能な公共交通の構築 ・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。 ・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。 ○営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保 (主な実施内容：乗合バス事業者・タクシー事業者・市町村の支援、利用促進のための啓発、バス協会・トラック協会への助成、利便性向上のためのシステム拡張)																
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況												
	予算額	前年度繰越	0	0	0	No	成果指標	29年度	30年度								
		当初予算	578,945	608,507	614,863				目標値	成果	達成状況						
		補正予算	0	0	0	①	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	33.8人	33.8人	33.2人	未達成						
		合計(A)	578,945	608,507	614,863				②	地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率	73.1%	82.1%	76.6%	未達成			
	Aの 財源	一般財源	560,379	573,511	576,828							③	営業用トラックの交通事故件数	213件	232件以下	197件	達成
		県債	0		0										④	長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」のダウンロード数	24,266DL
		国庫支出金	10,750	18,736	16,469												
		その他	7,816	16,260	21,566												
	決算額(B)	573,113	601,762														
概算 人件 費	職員数(人)	3.00	4.00	4.00	成果指標 設定理由												
	概算人件費(C)	24,306	32,872	32,872	①地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定 ②乗合バス車両のバリアフリー化促進のため、地域間幹線バス運行事業者の低床バス導入率を成果目標に設定 ③営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定 ④生活バス路線の維持確保につながる「信州ナビ」のダウンロード数を成果目標に設定												
	概算事業費(B(A)+C)	597,419	634,634	647,735													
備考																	
目標に対する 成果の状況	①地域間幹線バスの1日あたり輸送量については、前年度比0.6人減となり、目標未達成となった。 ②地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率については、目標未達成となったが、平成29年度から30年度にかけて3.5%増となり、導入率は改善されているところ。 ③営業用トラックの交通事故件数については、安全対策等の実施により197件と目標比35件減少となり、目標を達成した。 ④長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」のダウンロード数は順調に推移しており、目標値を3,083DL上回り目標を達成した。																

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのように していきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。	地域交通の最適化の検討を促進するため、バス路線のデータの収集・分析を行いカルテを作成する等、新たな施策も行いながら、引き続き公共交通の継続的な運行確保に努める。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		地域間幹線バス路線確保維持費補助金	①地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金 ②地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金 ③県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与	0.75	274,373	269,018	279,730
2		運輸事業振興助成補助金	長野県バス協会・長野県トラック協会が実施する輸送サービス改善・交通安全対策・環境保全対策等に対する助成金	0.75	305,034	305,034	309,040
3		地域交通ベストミックス構築事業	①市町村が実施する地域交通の見直し等の取組に対する支援 ②市町村等に対する交通アドバイザーの派遣	0.75	9,528	8,178	7,500
4		公共交通乗換案内サイト構築事業	「信州ナビ」へのバスロケーションシステム実装	1.00	15,972	15,932	8,025
5		地域公共交通利用促進事業	-	-	-	-	-
6		より身近な地域交通として「羽ばたく(TAXI)PJ」	ユニバーサルデザインタクシーの導入支援及び業界活性化の推進	0.75	3,600	3,600	4,900
7		地域公共交通最適化サポート事業	バス路線のデータを収集・分析し、カルテを策定することにより、地域交通の最適化にかかる市町村、事業者等の取組を推進	-	-	-	4,554
8		多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	くらしの足の最適化促進の他、観光交通の充実等多様な連携に対する助言等を行うアドバイザーを県が委嘱し、市町村等へ派遣	-	-	-	1,114
9		ヒト・モノ相乗りによる広域交通システム構築事業	-	-	-	-	-
合計				4.00	608,507	601,762	614,863

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	バス等振興対策事業費			部局	企画振興部	課・室	交通政策課				
02 05 01												
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	30年度					
							29年度	30年度				
							当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	地域間幹線バス路線確保維持事業費補助金	補助金	①路線の確保・維持のため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助を行う（5事業者、28系統） ②バス車両のバリアフリー化推進・老朽化対策のため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等に対する補助を行う（4事業者、継続23台・新規導入3台） 【補助率：国1/2、県1/2】	①乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助（5事業者、28系統）を行い、路線の確保・維持を行った。 ②乗合バス事業者が購入した低床バス（4事業者、継続23台・新規導入3台）の減価償却費等に対する補助を行い、バスのバリアフリー化、老朽化対策を行った。	計画通り ○	192,810	192,473	192,473	-	191,388	
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバスを所有し、事業者が運行する「県有民営」の手法により、バス事業者を支援する（新規導入3台）	バス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者（4事業者、継続7台、新規導入3台）に貸与することで地域間幹線バス路線の基盤強化を行った。	計画通り ○	76,000	81,900	81,900	-	77,630	
2	運輸事業振興助成補助金	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、各協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して補助を行う 【補助率：10/10】 ○(公社)長野県バス協会 ①輸送サービス改善 ・路線バス行先表示器のデジタル化 等 ②交通安全対策 ・運転者適正診断、運行管理者講習の実施 等 ○(公社)長野県トラック協会 ①交通安全対策 ・衝突被害軽減ブレーキの導入助成 等 ②環境保全対策 ・アイドリングストップ装置の導入助成 等 ③全国協会への出捐	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、各協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して補助を行った。	計画通り ○	302,095	305,034	305,034	-	305,034	
3	地域交通ベストミックス構築事業	地域交通ベストミックス構築事業	補助金・直接	①持続可能な交通体系を構築するため、市町村等が実施する地域交通の見直し等の取組を支援する（継続5地域、新規選定2地域） 【補助率：県1/2】 ②地域交通の課題解消を促進するため、市町村等に対して交通アドバイザーを派遣する	①市町村等（継続5地域、新規選定2地域）が実施する地域交通の見直し等の取組を支援した。 ②地域交通の課題解消を促進するため、市町村等に対して交通アドバイザー（2市町村、2人）を派遣した。	計画通り ○	8,040	9,528	9,528	-	8,178	
4	公共交通乗換案内サイト構築事業	バス位置情報提供システム等構築事業負担金	負担金	公共交通の利便性向上及び利用者確保に加え、路線バスの運行管理の効率化や市街地の渋滞対策等を促進するため、路線バスの位置情報を広域的に提供する機能等を長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」に実装する 【負担率：国1/2、県1/2】	公共交通の利便性向上及び利用者確保に加え、路線バスの運行管理の効率化や市街地の渋滞対策等を促進するため、路線バスの位置情報を広域的に提供する機能等を長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」に実装した	計画通り ○	-	12,000	15,972	-	15,932	
5	地域公共交通利用促進事業	モビリティ・マネジメント（MM）推進事業	-	-	-	-	-	2,343	-	-	-	
6	より身近な地域交通として“羽ばたく（TAXI）”PJ	タクシー活性化支援事業補助金	補助金	タクシーをより身近で使いやすい地域の足とするため、乗降が容易で荷物スペースの広いユニバーサルデザインタクシーを導入して、定期券タクシー等の活性化策を行うタクシー事業者を支援する 【補助率：1/3以内（上限600千円）国と同調】	定期券タクシー等の活性化策を行うタクシー事業者に対してユニバーサルデザインタクシーの導入補助（6事業者6台）を実施した。	計画通り ○	-	12,000	3,600	-	3,600	
7	ヒト・モノ相乗りによる広域交通システム構築事業	シェアリングによる広域交通システムの構築	-	-	-	-	-	41,699	-	-	-	
合 計								578,945	656,977	608,507	0	601,762